

ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute(RLI)

RLI 参加者テキスト



RLI
2023~25

RLI 日本支部

カリキュラム委員会

ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute (RLI)

RLI 参加者テキスト

目 次

日本語版テキスト発刊にあたり R L I 日本支部委員長	北 清治	4
日本版カリキュラムについて R L I 日本支部カリキュラムチームリーダー	刀根 荘兵衛	5
6つのカリキュラム・フレーム		6
R L I カリキュラムの内容		
パート I		7
1. ロータリーにおけるリーダーシップ		10
2. 私のロータリー世界		12
3. 倫理と職業奉仕		18
4. 財団 I 私たちの財団		22
5. 会員の参加を促す		26
6. 奉仕プロジェクトを創造する		46
パート II		53
1. 成功に導くための計画		55
2. 会員を勧誘する		72
3. チームづくりとクラブコミュニケーション		79
4. ロータリー米山記念奨学事業		88
5. ロータリー財団 II 目標とする奉仕		92
6. 強いクラブを創る		99
パート III		115
1. ロータリーの機会		117
2. 効果的なリーダーシップ戦略		123
3. ロータリー財団 III 国際奉仕		127
4. 公共イメージ		130
5. 規定審議会・決議審議会		134
6. 変化をもたらす		139
卒後コース		141
卒後コースについて RLI日本支部カリキュラムチームサブリーダー	井原 實	142
1. ロータリーの歴史		144
2. ロータリーの理念		163
3. ロータリーの新しい流れ		176
4. クラブを元気にしよう		190

日本語版テキスト編集発刊にあたり

RLI日本支部委員長 北 清治（第2770地区）

この度、RLI日本語版テキスト（2023-25年度）が編集発刊されますことを大変嬉しく思います。今回の編集発刊にあたり日本支部カリキュラムチーム皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

本テキストはRLI本部の指針に沿えながら、日本のロータリアンに適応した内容で編集されております。

2023年7月1日付で発刊されました、RLIファシリテーターガイドブックと一体として、RLIの学習の機会にご活用頂き一層成果が上がることを願っております。

RLI日本支部は、その目的を、RLIの理念に従ってリーダーシップの学びを通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することを目指しております。

RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州第7510地区において、元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織であります。

日本では、2008年6月元RI理事南園義一日本支部委員長の下でスタートしております。2011年7月元RI理事黒田正宏氏に日本支部委員長が引き継がれ、2015年7月不肖私が日本支部委員長をお引き受けし今日に至っております。

現在、世界で400以上の地区が参加しております。日本では80%以上の地区が参加しております。日本の全地区の参加によって、ロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されることを期待致しております。

特に、地区内においてテキストの活用とファシリテーター養成の必要性が強く求められております。一日も早く大きな成果が上がることを願っております。

本RLIは、国際ロータリーの理事会において2002年2月RLIの名前にロータリーの名前を使うことを許可し、ロータリーの地区によって管理されている草の根のプログラムとして認められております。

また、2013年の規定審議会でRIのプログラムとするよう決議（13-168）されましたが、既に充実したプログラムとして成功していること、などの理由で、現状の姿を求めています。2014-15年度ゲーリー・ホアンRI会長はコメントを出し、RLIの成功を評価すると共に同じ認識を示しております。RLI本部とRI理事会も共通認識を持っていることを申し添えておきます。

日本版カリキュラムについて

RLI 日本支部 カリキュラムチーム
チームリーダー 刀根荘兵衛

2024-25 年度 RLI 日本支部カリキュラムチーム委員長を拝命致しております刀根荘兵衛でございます。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

既にご存じのように、2023 年 3 月の RI 理事会決定により、ロータリーでは、研修（トレーニング）文化から参加者中心の学習（ラーニング）文化へと移行が決定されました。

今後、RI の研修スタイルは急速にラーニングスタイルに変化していくこととなりますが、実は、この RI のラーニングスタイルへの変更を、30 年以上前から先取りしているのが RLI ということになります。今後、学習（ラーニング）文化への変更を推進するための指導者育成が急務となりますが、このことに最も大きく貢献できるのが RLI プログラムではないかと考えております。

さて、このたび、4 年ぶりに RLI 本部カリキュラム改訂が行われました。今回の改訂では、RLI の基本的なカリキュラム構成は変化がないものの、各セッションの設問内容や資料は大きく変更されました。

私ども日本支部カリキュラムチームでは、早速、RLI 本部の新テキストを参考に、各セッションの設問内容を検討するとともに、所謂、直訳の翻訳ではなく、日本語らしい適切な表現となるよう議論を重ねて参りました。

また、各セッションに付随する資料についても、日本のロータリアンにとってより理解しやすい資料に変更するとともに、日本支部独自の資料も追加致しました。

現在、RLI のカリキュラムは、本部推奨の標準プログラム以外に、各支部が独自のセッションを追加することが認められております。今回の改訂版でも、従来通り、日本独自のプログラムである「米山記念奨学会」と「規定審議会・決議審議会」のセッションを追加掲載致しております。

RLI はパート I からパート III までの一連のコースの学習を通じて、最終的に「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指す」こととなりますが、日本版 RLI 参加者テキストでは、さらに日本支部独自の卒後コースも 4 セッション提案致しております。この卒後コースは参加者のロータリー観をさらに広げる機会となりますので、今まで卒後コースに取り組んでこられなかった地区におかれましても、是非この機会に、卒後コースにチャレンジして戴ければ幸いに存じます。

今後、皆様からのご意見を賜りながら、RLI がより効果的な研修ツールとなるよう努力して参りたいと存じます。

皆様の変わらぬお力添えをよろしくお願い申し上げます。

RLI ファシリテーターの皆様へ

RLI ファシリテーターガイドブックの第 3 章「RLI 参加者テキストをどう読み解くか／ひとつの例として」は旧参加者テキスト(2022~23 年版)のセッションの問いに基づいて解説しています。

今回の改訂版のセッションの問いとは一部異なっている場合がありますので、ご確認の上セッションの進行をご検討ください。

6つのカリキュラム・フレーム

標準カリキュラムセッション

<p>ロータリーの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 私のロータリー世界 ① ➢ ロータリーの機会 ③ ➢ 強いクラブを創る ② ➢ <u>規定審議会</u> ③ 	<p>リーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ロータリーにおけるリーダーシップ ① ➢ 効果的なリーダーシップ戦略 ③ ➢ <u>チームづくり</u> ② ➢ 変化をもたらす ③ 	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 20px; height: 40px; margin: auto;"></div> <p>合体</p>
<p>奉仕と財団</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 財団Ⅰ 私たちの財団 ① ➢ 財団Ⅱ 目標とする奉仕 ② ➢ 財団Ⅲ 国際奉仕 ③ ➢ 奉仕プロジェクトを創造する ① ➢ <u>ロータリー米山記念奨学事業</u> ② 	<p>クラブコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>クラブコミュニケーション</u> ② ➢ 公共イメージと広報 ③ 	
<p>倫理と職業</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 倫理—職業奉仕 ① 	<p>会員基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 会員の参加を促す ① ➢ 会員を勧誘する ② ➢ <u>成功に導くための計画</u> ② 	

注記：日本支部では、規定審議会とロータリー米山記念奨学事業のセッションを追加し、チームづくりとクラブコミュニケーションを合体して、パートⅡの『チーム作りとクラブコミュニケーション』の1つのセッションにまとめました。

各パートの位置付け

- パートⅠ ロータリアンとしての私
- パートⅡ 私たちのクラブ
- パートⅢ 私のロータリーの旅



ゴールは、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立

卒後コース

改めてロータリーを学び、ロータリーをさらに深める



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2023 - 25

パート I

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI プログラムについて

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI)は、世界中の地域支部に組織化された会員のための、草の根による多地区合同リーダーシップ開発プログラムです。RLI プログラムは RI 理事会によって推奨され、また 3 年ごとに開催される 3 回の規定審議会で、力強く支持されました。

RLI は、最近クラブに入会した新会員を含めて、将来のクラブ役員候補者やその他のクラブ会員のために、質の良いリーダーシップ開発コースを実施してきました。

RLI の各コースは、リーダーシップ技能や世界中のロータリーの知識を強調しています。すべてのコースは、すべて対話型となっています。RLI は、このリーダーシップ研修によってロータリーに対する情熱が湧き、ロータリーにさらに熱心に取り組むことで、会員維持にプラスの影響が出てくるものと信じています。RLI に関する詳細な情報は、ウェブサイトをご覧ください。(www.rotaryleadershipinstitute.org)

RLI 推奨プログラム

RLI はすべての地域支部に概要と指導者資料を含めて、標準カリキュラムを提供しています。

カリキュラムは数年ごとに改定されます。RLI の拡大により、各支部において、指導者がカリキュラムに適応したり、またカリキュラムの翻訳を行うために各支部が十分な時間的余裕が持てるように、4 年ごとに大きな改定が行われます。すべてのカリキュラム資料や翻訳版は RLI ウェブサイトに掲載されています。(www.rlifiles.com)

RLI カリキュラム委員会

RLI は、専門のカリキュラム編集者から成る国際委員会を組織し、RLI のカリキュラムを審査しています。RLI は、国際的な専門家委員会を組織し、世界各地から集まった専門家のボランティアによって資料を検討し、翻訳しています。これらの委員会では、ボランティア委員を募集しています！newsletter@rotaryleadershipinstitute.org までご連絡ください。

2023～2025 年度 カリキュラム委員会

RLI パート I — ロータリアンとしての私 目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

私たちの使命： ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



1. ロータリーにおけるリーダーシップ(My Leadership In Rotary)10

ロータリークラブはリーダーの集まりであり、ロータリアンである私はリーダーです。さあ一緒に、リーダーシップの特徴や組織を動機づける手法やリーダーシップのスタイルを探求しましょう。どうしたら一番うまくリーダーシップを発揮することができるでしょうか？



2. 私のロータリー世界(My Rotary World)12

ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。ロータリーの目的や組織構造を正しく理解しましょう。これらのリソースは私を支援してくれるでしょうか？



3. 倫理と職業奉仕(Ethics - Vocational Service)18

私は倫理的な人間です。他の人に倫理の大切さを理解し実践してもらいます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。私がロータリアンであることをあなたは理解できるでしょう。



4. 財団 I — 私たちの財団 (Our Foundation)22

私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。財団に関する基本的な目標、やプログラムを学びましょう。私は世界で良い事をする力となるでしょう。



5. 会員の参加を促す(Engaging Members)26

私が積極的に参加することでクラブをより強くします。クラブに引き込まれている会員は楽しく過ごし、友人を作り、効果的な奉仕活動を行います。これが私がロータリーに入会した理由です。



6. 奉仕プロジェクトを創造する(Creating Service Projects)46

私は職業人や専門職、更には社会のニーズを満たすボランティア活動のリーダーで構成される世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。私は奉仕事業を企画、運営し、そして奉仕を促進します。

1 ロータリーにおけるリーダーシップ

ロータリークラブはリーダーの集まりであり、ロータリアンである私はリーダーです。



優れたリーダーシップには、思考力、計画性、準備、責任感、新しいことに挑戦する意欲、過去にとらわれない姿勢、リスクを取る信頼感が必要です。RLI は、リーダーシップには生まれつきの資質がある一方で、リーダーシップのスキルを向上させるという意味で、リーダーシップは教えられるものだと考えています。

セッションの目標

- リーダーシップの特徴を探る
- リーダーシップのスタイルを見直す
- 自分のリーダーシップスタイルが、クラブ内のほかのリーダーやロータリークラブのニーズとどのように関係があるかを検討する

セッションの問い

- 1) 優れたリーダーシップの特徴とは？
- 2) リーダーシップの特徴の中で、最も重要なものはどれですか？
- 3) ビジネスにとって最も重要なものはどれか？
- 4) ロータリーやボランティア組織にとって最も重要なものはどれですか？
- 5) ビジネスで重要なリーダーシップとロータリーやボランティア組織で重要なリーダーシップは、なぜ違うのでしょうか？

- 6) すべてのロータリアンがリーダーであるならば、個人のリーダーシップは重要でしょうか？

リーダーシップの種類

- 参加型：ほかの人々に参加してもらおうと努める。
- 臨機応変型：状況により方法を変える。
- 取引型：階層（ヒエラルキー）構造と賞罰制度に基づいて導く。
- 転換型：活力と熱意を分かち合いながら、相手の心をつかみ導く。
- サーバント型：仕えてもらうより自らが仕える。

- 7) あなたのクラブでは、どのタイプのリーダーシップが最も成功すると思いますか？

- 8) この情報を、クラブまたはあなた自身にどのように生かすことができますか？

まとめ

- リーダーシップは習得できるスキルであり、個人的にも選択できます。
- リーダーシップには、よく考え、計画し、準備し、新しいことに挑戦する意欲が必要です。
- ボランティアを指導することは、社員を指導することとは異なることがあります。

パート II のセッション 3 「チーム作りとクラブコミュニケーション」では、ボランティアリーダーシップの資質と特徴をさらに発展させます。

2 私のロータリー世界

ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。



セッションの目標

- ロータリーの使命について議論する。
- ロータリーの組織構造について理解する。
- ロータリーの組織は、ロータリアンとしての私をどのように支えているかを考える。
- ロータリーのビジョンと戦略優先項目を理解する。

セッションの問い

- 1) ロータリーに入会した理由は何ですか？
- 2) ロータリーは何を目指していますか？
- 3) そのこととロータリーに入会した理由はどのように関連しますか？

-
- 1) ロータリーはどのような構造になっているのでしょうか？
 - 2) なぜロータリーはこのような構造になっているのですか？
 - 3) これらの人たちは、あなたやあなたのクラブにどんな形で貢献できるのでしょうか？
 - 4) ロータリー財団は、RIの中核的価値観をどのように支えていますか？

以下の文章は正しいですか？間違っていますか？

1. 私のクラブは自律的です。
クラブがクラブであり続けるためには何をしなければなりませんか？
クラブの目的は何ですか？何をやるクラブですか？
2. 会費はクラブのためにのみ使われます。
会費はどこに使われていますか？
3. 私はロータリアンです。国際ロータリーに所属しています。
4. 地区は、私たちのクラブを支援するために存在します。
地区はクラブのために何をしてくれますか？
5. 私たちのクラブを訪問したガバナー補佐は、次に地区ガバナーになる候補者です。
ガバナー補佐の役割は何でしょうか？
6. オンラインで地区の情報にアクセスできます。
地区にはウェブサイトがありますか？ゾーンにもありますか？
7. 私は単なる会員です。RI のウェブサイトには、私にとって有益な情報はあまりありません。
ウェブサイトをご覧になったことがありますか？
ウェブサイトにアクセスしたことのある人はおられますか？
そこで何を知ることができましたか？
8. ゾーンは地区に対し、何をすべきかを指示します。
ゾーンは何をしているのでしょうか？
9. 国際ロータリーは、地区に何をすべきか指示します。
RI は何をしているのでしょうか？
10. このセッションが終わったら ロータリーのことなら何でも分かるようになります！
どこに行けば答えが見つかりますか？

まとめ：

- ロータリーの構造は、クラブとロータリアンに奉仕する仕組みです。
- ロータリーの目的は、私たちみんなに目標を与えてくれます。
- ロータリーのあらゆるレベルから支援が得られます。

セッション2 資料1

ROTARY



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善平和を推進すること。

INTERNATIONAL

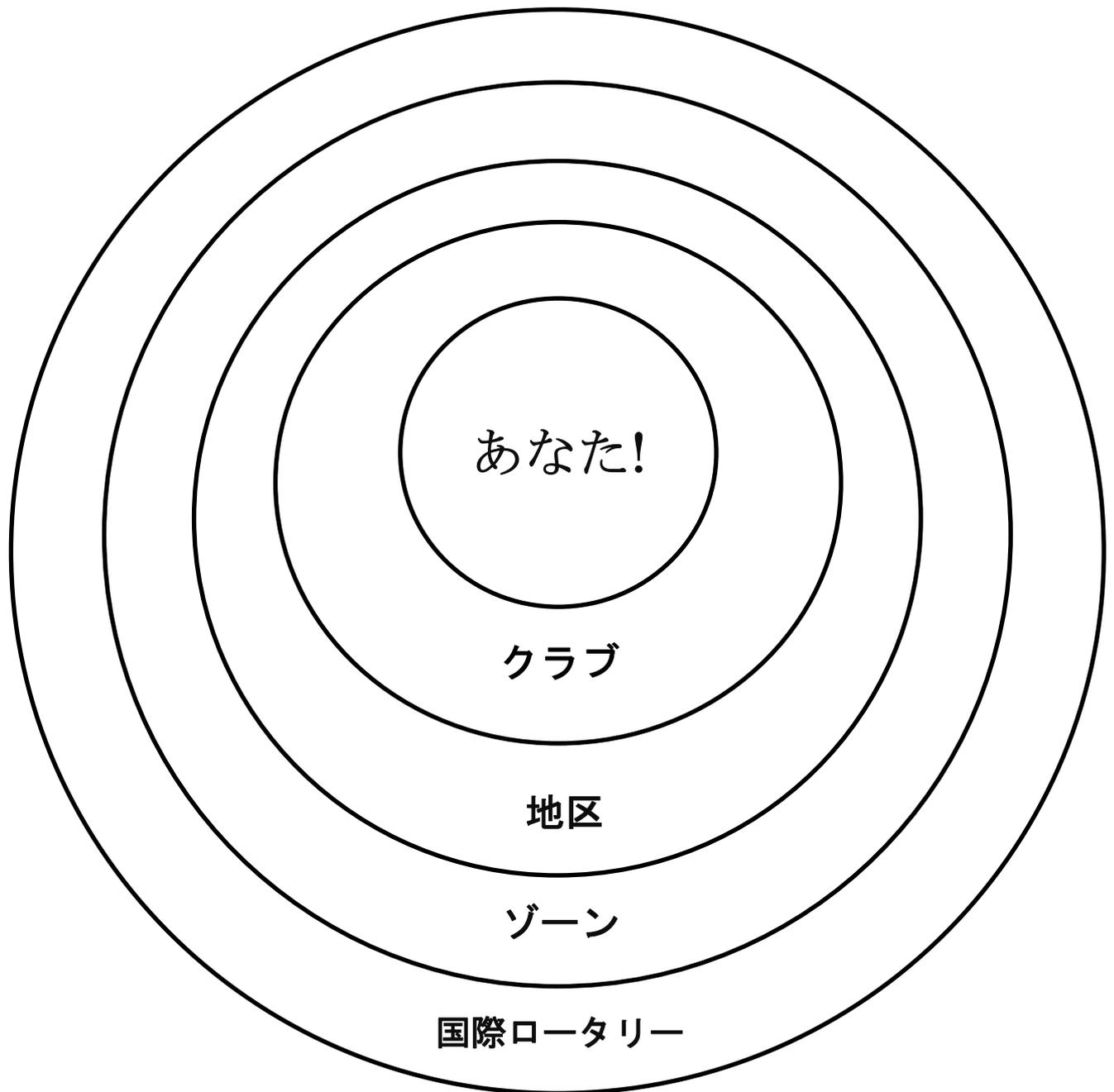
ROTARY

INTERNATIONAL

ROTARY

INTERNATIONAL

セッション2 資料2
ロータリーの組織構造



ロータリー財団

セッション2 資料3 ロータリーのしくみ

ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の三つの部分から成ります。ロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリー（RI）というグローバルな連合体に加盟しています。国際ロータリーは、世界的な取り組みやプログラムを取りまとめ、全世界のクラブをサポートします。ロータリー財団は、地元の奉仕プロジェクトから世界的なイニシアチブまで、ロータリーの人道的活動に補助金を提供します。

クラブ

ロータリーのしくみにおいて最も大切な土台となるのがクラブです。200以上の国と地域に36,000以上のロータリークラブと10,000以上のローターアクトクラブがあり、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化を生むために活動する人びとを結びつけています。ローターアクトクラブはロータリークラブと似ていますが、大学生や若い職業人を主に対象としています。各クラブは自主的に活動しているため、会員が得られる体験もクラブによって異なります。ただし、すべてのクラブには役員がおり、クラブの運営を助ける委員会が設置されているなど、全クラブに共通することもあります。ロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリーの加盟クラブとみなされます。クラブが充実していれば、地域社会での奉仕活動やクラブ会員の経験もより一層豊かなものとなります。

地区とゾーン

クラブが集まって形づくられた「地区」が世界に約520あり、地区ガバナーが地区のリーダーとしての役割を担います。ガバナーは、リーダーとしてのスキル、ロータリーでの経験、奉仕への熱意



36,000以上のロータリークラブと10,000以上のローターアクトクラブがあり、これらのクラブが約520の地区に分けられている。これらの地区は、地域ごとに34ゾーンに分けられている。

に基づいて、地区内のクラブによって指名されます。ガバナーとなる会員は、就任に先立ち、日本国内での研修と、海外で実施される国際協議会に出席します。ガバナーの任期は1年で、ガバナー補佐および地区委員会と協力して、地区内クラブを支援・強化し、奉仕プロジェクトに対

する会員の熱意を高めます。ガバナーはまた、就任年度中に各クラブを（直接またはバーチャル形式で）訪問し、新クラブの設立を監督し、地区大会やその他の特別行事の計画を立てます。

全世界の地区が34のゾーンに分けられ、各ゾーンのロータリアン数はほぼ同数となっています。各ゾーンから国際ロータリー理事が選出されます。

RI 資料 699-JA-(417)「ロータリーの基本情報」より抜粋

セッション2 資料4 あらゆるレベルでの支援

地区

ガバナー
ガバナー補佐
地区ロータリー財団委員長
地区公共イメージ委員長
地区会員増強委員長
その他の地区委員長！

ゾーン

理事
ロータリーコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター
ロータリー公共イメージ・コーディネーター
ポリオ根絶コーディネーター
恒久基金／大口寄付アドバイザー

国際ロータリー

会長
理事会
事務総長
ラーニングセンター — Web サイト (www.rotary.org)
ロータリー財団チーム
ブランディング・チーム
規定審議会 (COL) と決議審議会 (COR)
ロータリーの管理運営に関する文書 — Web サイト (www.rotary.org)
国際ロータリー定款 (COL により更新)
国際ロータリー細則 (COL により更新)
標準ロータリークラブ定款 (COL により更新)
推奨ロータリークラブ細則 (クラブにより変更)
ロータリー章典 (RI 理事会会合の後、毎回更新)
ロータリー財団章典 (ロータリー財団管理委員会の会合後に更新)
標準ローターアクトクラブ定款 (RI 理事会により更新)
推奨ローターアクトクラブ細則 (クラブにより変更)
手続要覧 (COL により更新)

3 倫理と職業奉仕

私は倫理 (Ethics) を大切にしています。社会の倫理の向上に努めます。
自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。



セッションの目標

- ロータリーの指導原則に含まれる倫理観を学ぶ。
- 私たちが共有できる価値観は何か。
- これらの価値観が、自分自身や自クラブとどのような関わりがあるか。

セッションの問い

- 1) あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？
*参加者全員に、それぞれの職業観を聞いてみましょう。

- 2) ロータリーの目的 (資料1:P19 ロータリー指導原則) の第2項に記されている職業上の高い倫理基準や職業の高潔性をどのように考えますか？

- 3) 「四つのテスト」は、ロータリーの職業倫理についての声明です。
「四つのテスト」はロータリーの職業奉仕をもっとも簡潔に表した言葉だと言われます。あなた自身の職業に、四つのテストをどのように反映されていますか？

- 4) 「職業奉仕のアイデア」 (資料3:P21) はRI が推奨する「職業奉仕」の活動事例です。
あなたの「職業奉仕」観は広がりましたか？

まとめ：

- 職業奉仕は、ロータリーの創立の大きな動機の一つであり、職業や専門的なスキルを社会のために役立てることです。
- クラブは、プロジェクトの立案と実施において、会員それぞれのスキルを生かすことを重視すべきです。
- ロータリアンは、ロータリーの目的の理念と指導原則を積極的に推進、実践すべきです。

セッション3 資料1：ロータリーの指導原則

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

四つのテスト (The Four-Way Test)

ロータリーの初期のころから、ロータリアンは彼らが生活の糧としている職業における高い倫理的水準に引き上げることに関心を持ってきました。世界で最も広く印刷され、引用される職業倫理の声明のひとつに四つのテストがあります。

それは1932年にロータリアンである、Herbert J Taylor (後のRI会長) が倒産の危機に直面していた会社を任されたときに、彼によって起草されたものです。

実業生活や専門職生活の中で雇用者が実践すべき、この24の単語からなる四つのテストは、販売や製造、広告業においても、またその他、販売者と顧客との全ての関係において指導書となりました。そして企業の生き残りはこの簡単な哲学に帰すると言うことになりました。

四つのテストは1943年ロータリーによって採用され、百以上の言語に翻訳され、色々な形で出版されています。それは次のような四つ質問を尋ねています。

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

原文：The Four-Way Test

Of the things we think, say or do:

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

ロータリアンの行動規範

(Rotarian Code of Conduct)

全会員（ロータリアンおよびローターアクター）には以下のことが求められる：

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の行動規範」を遵守することが含まれる。
- 3) ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリー関連行事では、すべての行動規範に従う。

五大奉仕 (The five Avenues of Service)

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際の規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を實踐していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

セッション3 資料2

ロータリーDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)行動規範 (2021年)

国際ロータリー理事会は、ロータリーの中核的価値観を反映した新しいDEI行動規範を承認しました。

この行動規範は、ロータリーの会員が、協力的で前向きな、誰にとっても健全な環境を作り、維持するための指針となるものです。

DEIの行動規範は、誰にとっても協力的で、前向きで、健全な環境をロータリー会員が築き、維持するのを支える枠組みとなるものです。

この行動規範はロータリー会員に以下のことを求めています：

- 他者を尊重する言葉を使う
- サポートを示す
- 温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する
- 多様性を重んじる

表現の自由は大切ですが、私たちの言動には重大な責任が伴います。ロータリーは、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認に基づくバイアス（偏った考え方）、差別、偏見、ヘイト（憎悪）を促進する言動をロータリーが容認しないという共通の立場を取ります。

クラブ会長、ガバナー、理事と管理委員など、ロータリーのすべてのリーダーには、自らの言動がほかの人に及ぼす影響について責任をもつとともに、他者にも言動に責任をもつよう促すなど、DEIの行動規範を一貫して適用することが求められます。

(DEI行動規範より抜粋)

<https://www.rotary.org/ja/about-rotary/diversity-equity-and-inclusion>

セッション3 資料3：職業奉仕のアイデア

1. 職場における高い倫理基準を促進する

- a. 雇用や研修および手順の復習において誠実、責任、公正、尊敬を議論し強調する
- b. 内部のコミュニケーションにおいて、就業内外の模範的な行動を称賛し、奨励する
- c. 顧客や仕入業者や仕事の協力者に対して、高い倫理基準への公約を宣言し、実証する

2. 職業分類の原則

- a. あなたのクラブで職業意識を推進させるために職業分類について話をする
- b. 若者や従業員に商品価値のある技能を増進させるためのクラブプロジェクトを開始する最初の段階で、職業分類の話をする
- c. 会員企業の職場訪問を計画することはそれぞれの会員の職業の価値を認識するもう一つの方法です。
- d. 会員の事業所で移動例会を持つ計画を立てる
- e. 若者を特別な職業奉仕の会合に招待する

3. 高い倫理基準へのロータリーの公約を推進する

- a. 地域社会で目立つ広告掲示板に四つのテストを掲示する
- b. 四つのテストやロータリアンの職業宣言をあなたの事務所や職場に掲示し、それについて社員に話をする
- c. あなたの職場や地域社会や家庭における行動が高い倫理基準への公約を実証することで、“有言実行”を実践する
- d. 四つのテスト・エッセイコンテストを後援する
- e. 子供たちのための共同”文字ベースの識字率プログラム”を後援する
- f. 倫理について特に強調する RYLA 事業を指導する
- g. 職場で高い倫理基準を維持することについて、討論や分科会を開催し、ロータリアンでない経営者たちをその会議に招待する

4. 有益な職業の価値を認識し推進する

- a. あなたのクラブのプログラムとして、職業分類の話や職場訪問を行う
- b. あなたの職業に関連するロータリー親睦活動に参加したり、新しく組織したりする
- c. ロータリアンが若者の就職を助けるキャリアデイを後援する
- d. 専門技能の開発を支援する
- e. 事業上の連携における指導的役割を会員が取るように奨励する
- f. 小規模な起業家のためのセミナーを後援する
- g. 会員が地域の専門職の人と出会い、彼らをロータリーに導く、専門職業人のための非公式なネットワーク・イベントを開催する
- h. 失業あるいは、不完全雇用の成人に求人市場で競う必要のある技能を持たせるための職業相談プログラムを始める

5. あなたの職業におけるボランティア活動をする

- a. 若い会員を個人指導する
- b. あなたの特別な職業技能を必要とするプロジェクトを探すために、ロータリープロジェクト・リンクのデータベースを利用する

4 財団 I 私たちの財団

私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。



セッションの目標

- ロータリー財団の使命、プログラム、および資金調達について理解する
- ロータリー財団の重要性と価値について議論する
- ロータリアンがロータリー財団 (TRF) へ寄付をする必要性

セッションの問い

- 1) 財団と聞いて何を連想しますか？
- 2) ロータリー財団は何故創られたのでしょうか。
また、ロータリー財団は、何故必要なのでしょうか。
- 3) ロータリー財団と国際ロータリーの違いは何でしょうか？
- 4) ロータリー財団の使命は何でしょうか？
- 5) ロータリー財団への寄付には、どのようなものがあるのでしょうか？
また、あなたのクラブでは、財団に対する寄付をどのように集めていますか？
- 6) 自分自身の財団寄付額がどのくらいあるか知っていますか？
寄付額をどのように調べることができますか？

まとめ：

- ロータリー財団は、世界に大きな変化をもたらす力を与えてくれます！

セッション4 資料1

ロータリー財団がチャリティナビゲーターから 15年連続で最高評価を受ける

ロータリー財団は、15年連続で、米国の慈善団体の格付けを行っている独立団体「チャリティナビゲーター」より、最高の四つ星評価を獲得しました。

財団は、慈善部門におけるベストプラクティスを遵守し、財務的に効率のよい方法で使命を遂行し、財務の健全性および説明責任と透明性へのコミットメントを示したことが評価されました。

チャリティナビゲーターのマイケル・サッチャー会長兼 CEO は、「ロータリー財団の卓越した運営を裏付ける第三者からの認定を提供できることをうれしく思う」と話しています。「四つ星評価は、組織が達成しうる最高の評価です。ロータリーがこの先何年にも渡って成し遂げていく優れた活動を見守っていきたいと思います」

チャリティナビゲーターは、「コストに対する慈善事業のインパクト」、「透明性、効率性、持続可能性を含む組織のガバナンスと財務の健全性」、「リーダーシップ能力、戦略的展開、内外の変化への適応力」、「全体的な文化とその構成員（会員）やコミュニティとのつながり」を含む四つの主な指標に基づいて非営利団体の業績を評価しています。

- Oct 2023



セッション4 資料2

ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」 (Doing Good in the World)

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

ロータリーの7つの重点分野



国際ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである。

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

国際ロータリーとロータリー財団の 2024-25 年度年次目標

優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025 年までに 20 億 2,500 万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

4. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
5. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
6. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
7. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項 3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
9. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
10. 職業上のつながりを育み、リーダーシップ・スキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先事項 4「適応力を高める」の目標

11. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
12. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

5 会員の参加を促す

私が積極的にロータリーの活動に参加することで、クラブをより強くします。



セッションの目標

- クラブ会員にロータリー活動の参加を促すことの重要性
- 会員の参加を促す方法を探る。
- あなたにとってのロータリーの魅力を確認する。

セッションの問い

- 1) あなたはロータリークラブのどこに魅力を感じて入会し、なお今も在籍しているのでしょうか？あなたがロータリーを続ける理由は？
入会の動機と継続の理由について考えましょう。(資料1～6：P27～45)
- 2) あなたがクラブに入会した時のことを思い出してください。オリエンテーションや新会員研修の機会がありましたか？新会員に対して、どのような参加を促す工夫があったらよかったと思いますか？
- 3) あなたのクラブは会員の参加を促すためにどのような工夫をしていますか？例会の工夫は？奉仕プロジェクトへ参加させる工夫は？
同好会などがありますか？その活動は活発ですか？
- 4) クラブ会員の参加を促し満足度を高めるために何が必要だと思いますか？

まとめ：

- 会員がより深く知り、参加すればするほど、クラブは強くなります。

セッション5 資料1

奉仕と親睦で結ばれて

国際ロータリー会員調査の結果からロータリーの現状と今後の方向性を探る

1921年にエジンバラ（スコットランド）で開かれた年次大会で、ポール・ハリスは次のように述べました：「ロータリーの原動力は親睦です」。盛大な拍手を受けたこの発言に、100年経った今のロータリー会員たちもうなずきます。



Woolloongabba Pride ローターアクトクラブは多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）を実践しています

写真提供：Rotary Down Under

ロータリー会員を対象とした最近の年次調査で、回答者の 45%が、ロータリーにとどまり続ける理由として「友情」を挙げています。また、ロータリーを通じて友人とのつながりを維持できることについては、84%が「満足している」と答えています。さらに、回答者の 42%がロータリーにとどまる理由として「地域社会に貢献する機会」を挙げており、ロータリー創設者ハリスがそれを知ったらきっと喜んだことでしょう。

ロータリーが全会員を対象に毎年実施する調査の目的は、このような情報を集めることです。国際ロータリーが昨年秋に実施した 2021 年調査では、ロータリアンとローターアクト7 万人近くが回答しました。調査への回答は、ロータリーの行動計画と戦略的イニシアチブの長期的な成功のために役立てられると同時に、ロータリーのリーダーが新会員やベテラン会員の期待と体験をよりよく理解し、対応することを可能とします。地域レベルでは、この情報を活用してクラブと地区が入会への関心を高め、既存会員の参加をさらに促すことができます。



ロータリーの会員基盤：スナップショット

- 65
男性ロータリアンの平均年齢
- 59
女性ロータリアンの平均年齢
- 25
ローターアクターの平均年齢（男女）
- 24%
全ロータリアンのうち女性が占める割合
- 50%
全ローターアクターのうち女性が占める割合

自分のクラブについて好きな点……

- ・ 友情と親睦
- ・ 卓話で新しい知識を学べること
- ・ 興味深いトピックに関するディスカッション
- ・ 地元で奉仕活動に参加する機会
- ・ ハイブリッド式例会（多様な卓話ゲストを招くことができる、対面式での出席が難しい会員も参加できる）

……好きではない点

- ・ 対面での交流がないバーチャル例会
- ・ リーダーが頼りない・無反応
- ・ 卓話の内容に自分との関連性や関心がない
- ・ 時間管理ができていない（開始・終了時間が遅れる）
- ・ 派閥
- ・ 排他的で多様性がない
- ・ 儀礼や不必要な形式的慣習（祈祷、斉唱など）

なぜクラブにとどまるのか

- ロータリー会員の 93%が、今後 12 カ月間にクラブに留まり続ける可能性が「極めて高い」（78%）または「おそらく留まる」（15%）と回答
- 61%が、クラブは地域社会に貢献したと思うと回答
- 2021 年 10 月までの 12 カ月間にロータリー会員がボランティアを行った合計時間数は 4,820 万時間
- ロータリアンの 59%がプロジェクトの立案、ボランティア活動、寄付を通じてグローバル補助金に参加

なぜ退会するのか

- 2016 年に入会したロータリアンのうち、61%が 2020 年までに退会

その理由

- 自分の価値観とクラブの価値観が合わない
- クラブが地域に貢献していない
- 会費
- 個人的な事情
- クラブ内での対立
- 時間的拘束

- ロータリー会員の 53%が、クラブでの会費の使い道について「かなり知っている」と回答



データから学んだこと

新会員の積極的参加を引き出す方法：例会でなんらかの役割を担当してもらい、ほかのクラブ会員に紹介する、委員会やプロジェクトでリーダー的役割を務めることを勧める。

- 会費が負担となっている場合、会費を減額するか、柔軟な会員種類の選択肢を提供する。
- 親しい仲間のグループ以外の人びとに入会を誘うことで、会員基盤を多様化する。
- クラブでの居心地がよければよいほど、ロータリー会員としての満足感も高まる。このため、会員がクラブで歓迎され、尊重され、価値ある存在として大切にされていると感じられるようにすることが大事。

82%

友人、同僚、ほかの会
員を通じてクラブにつ
いて知った新会員

1～3回

大半の入会候補者がク
ラブ入会を決める前に
出席した例会の数

1～3年

新会員が退会するリス
クが最も高い入会後の
期間

『Rotary』誌 2022年8月号に掲載された記事

RI Web サイト 「奉仕と親睦で結ばれて ～国際ロータリー会員調査の結果からロータリー
の現状と今後の方向性を探る」より抜粋
<https://www.rotary.org/ja/united-friendship-and-service>

会員の満足度を 高める： 会員満足度アンケート



会員がクラブで得られる体験は、クラブに対する会員の気持ちに影響します。会員の声に常に耳を傾けて変化を取り入れ、全員の協力を得ながら理想のクラブづくりを目指すことが大切です。会員満足度調査は、会員がクラブでの活動に満足できるように、会員の意見を集めるためのツールです。

目的

次のような目的でこの評価を実施し、その結果に基づいて対応します。

- クラブについて会員が満足している点、不満に感じている点は何かを知る
- 会員が満足している点をさらに強化し、不満な点を改善するための行動計画を立てる

準備

満足度アンケートの実施には、専任のグループが必要です。会員増強委員会、または有志の会員でもかまいません。例会中にアンケートを実施し、会員の満足度について話し合うこともできます。または、アンケート用紙を配布するかEメールで送信して各自に時間をかけて回答してもらうこともできます。満足度調査の実施のみを目的とした特別例会を開くのも一案です。その場合は、リラックスした雰囲気の中で率直な意見を集められるようにすることが重要です。



結果の分析と話し合いの際には、匿名性を守り、回答者がわからないよう配慮しましょう。

はじめよう

ステップ1: アンケートをカスタマイズ

以下の質問サンプルを使用して、クラブ独自の会員満足度アンケートを作成してください。

ステップ2: アンケートを配布

会員にアンケートを配布するか、オンラインのアンケートプラットフォームを使用します。回答は匿名で集計され、現会員と入会候補者の双方にとってより良いクラブづくりに役立てられることを伝えてください。

ステップ3: データを分析

アンケート実施専任グループが、回答を確認します。回答結果を極秘とすること、あらゆる意見を尊重することをあらためて強調します。

ステップ4: 結果を発表、行動計画を立案

アンケート結果を発表し、クラブで話し合います。会員からの質問を受け、アンケート結果に基づいて対応のアイデアを出し合います。会員の積極的な参加を促すための行動計画を立て、実施スケジュールを組みます。

ステップ5: 計画を実行

最後のステップは、行動計画の実施です。会員と話し合い、できるだけ多くの会員に協力してもらい、クラブに貢献していることを実感してもらいましょう。



インターネットを使ってアンケートを行うこともできます。無料（またはごく少額）で便利な機能を利用でき、回答データも簡単に管理できます。

そのほかの調査・アンケート

会員関心事アンケート

多様性調査

入会候補者情報の収集

会員維持調査・分析

退会者アンケート

補遺1の「クラブの行動計画」を使用して、会員増強の取り組みを記録しましょう。



スケジュールを組む際には、あらかじめ十分な時間を見積もっておきましょう。各ステップに1週間以上かかる場合もあります。

会員満足度アンケートの 質問のサンプル

クラブでの日ごろの経験に関する本アンケートへのご協力をお願いいたします。ご回答は、クラブをより良くするための参考とさせていただきます。正しい答え／間違った答えはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか。

- 満足している
- ある程度満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- 満足していない

2. 本クラブの雰囲気、会員、例会について、各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
例会を楽しんでいる	<input type="checkbox"/>				
クラブは新会員 が打ち解けられ るよう配慮して いる	<input type="checkbox"/>				
会員は互いへの 思いやりをもっ ている	<input type="checkbox"/>				
クラブは地元地 域の多様性を反 映している	<input type="checkbox"/>				

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
クラブは各会員 の関心、スキル、 都合に応じてで きるだけ活動に 参加するよう呼 びかけている	<input type="checkbox"/>				
寄付・募金活動 の量は適切であ る	<input type="checkbox"/>				
クラブは温かく 迎え入れる雰 囲気がある	<input type="checkbox"/>				
クラブで自分の 意見を自由に表 明できる	<input type="checkbox"/>				
このクラブの会 員であることを 誇りに思う	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

3. 例会について以下の各点を評価してください。

	非常に良い	良い	まあまあ	あまり 良くない	良くない	該当せず
国際ロータリーの最新 情報の紹介	<input type="checkbox"/>					
長さ	<input type="checkbox"/>					
頻度	<input type="checkbox"/>					
形式（オンライン、対 面、またはハイブリッド）	<input type="checkbox"/>					
交流に充てる時間	<input type="checkbox"/>					
職業的人脈を広げる機 会	<input type="checkbox"/>					
主題の多様さ	<input type="checkbox"/>					
場所	<input type="checkbox"/>					
例会曜日と時間	<input type="checkbox"/>					
食事や飲み物	<input type="checkbox"/>					
意見を述べたり話し合 ったりする機会	<input type="checkbox"/>					

ご意見・ご提案：

4. 本クラブの奉仕プロジェクトについてご意見をお聞かせください。

	ちょうどよい	多すぎる	少なすぎる
奉仕プロジェクト(全般)の数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会奉仕プロジェクトの数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国際奉仕プロジェクトの数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	そう思う	そう思わない	特に意見なし
奉仕プロジェクトはよく運営されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは奉仕プロジェクトを通じて世界や地域社会に貢献している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕プロジェクトへの参加は自分にとって意義がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案:

5. 本クラブのコミュニケーションと対応について、以下の各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
会員に十分な連絡が行われている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員の声に十分耳を傾けている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員からの意見やアイデアを積極的に募っている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員の意見やアイデアに基づいて運営されている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員のニーズに合わせて手続きや規定を更新している	<input type="checkbox"/>				
クラブは時代に即したペースで変化を取り入れている	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

6. 会員であることの価値について、以下の各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
私はクラブで 歓迎されてい ると感じる	<input type="checkbox"/>				
私はクラブの会 員と一緒にいる ときに、自分ら しくいられる	<input type="checkbox"/>				
クラブの会員 は私のことを 理解し、大切に してくれる	<input type="checkbox"/>				
クラブを通じて 貴重な人脈が できる	<input type="checkbox"/>				
クラブで自分 の才能やスキル を生かす機 会がある	<input type="checkbox"/>				
私はクラブでリ ーダーシップを 発揮する機会 がある	<input type="checkbox"/>				
会員としての経 験は、会費を 支払う価値が ある	<input type="checkbox"/>				
ロータリー会 員としての経 験は、時間を費 やす価値がある	<input type="checkbox"/>				

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
私がロータリー会員であることの価値を家族も認めている	<input type="checkbox"/>				
私がロータリー会員であることの価値を友人も認めている	<input type="checkbox"/>				
ロータリーを通じて地域のために貢献できる	<input type="checkbox"/>				
ロータリーを通じて世界のために貢献できる	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

7. クラブへの参加について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わない
私は、クラブの行事 に家族、友人、同僚 をよく誘う	<input type="checkbox"/>				
私は、入会候補者 に入会を誘っている	<input type="checkbox"/>				
私は、クラブの活 動／プロジェクト／ プログラムに頻繁 に参加している	<input type="checkbox"/>				
私は、このクラブを 誇りに思う	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

8. 会員が払う費用について、以下の各項目につき該当するものに印を付けてください。

	低すぎる	ちょうどよい	高すぎる	該当せず
クラブ会費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
例会の食事代	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブ入会金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕活動用に求められる寄付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ロータリー財団のために求められる寄付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

9. 上記の質問にない内容で、当クラブで始めたい、廃止したい、または継続したいことは何ですか。

セッション5 資料3

参加促すアイデア — ロータリアンの維持

課題：

ロータリーを退会する会員のうち、不本意な理由（死亡、転居など）で退会するのは約7%に過ぎない。

対策：

会員を惹きつけるアイデアを見つける。特に新会員は、地域社会に奉仕し、ネットワークを広げ、新しい友人を作るために入会したと考えられます。

私たちのアイデア：

バディ・システム

新会員と経験豊富な会員をメンターとして組ませ、新会員がクラブの雰囲気に対応し、「ノウハウを学ぶ」のを助ける。

RLI 仲間

新会員をRLIに派遣する費用をクラブが負担することを検討しましょう。

親睦委員会

新会員を委員会委員に任命し、全員が楽しめるような活動を行います！
地元のアトラクションやコンサート、演劇をグループで訪れるのもよいでしょう。
例会中に新しい楽しい行事を行うこともできます。

アドプト・ア・クラス*（出前授業）

地元の小学校と提携し、読み聞かせや指導などの活動を行う。

ロータリーミニット

すべての会員に、1分間の自己紹介をしてもらいます。
ロータリーの“ハッ”とした瞬間や、“あなたを知る”瞬間でもよい。

インターアクト

インターアクト・グループを結成するか、既存のクラブに参加する！

パーティープランニング

委員会を結成し、例会以外の社交行事を手配する。

職業ミニット

すべての会員に、自分の職業や職業分野に関する情報について短いプレゼンをしてもらいましょう。

あなたのアイデア：

【訳者注】**Adopt A Class***は、学校の教育に関するプログラムです。このプログラムは、学校の教育に関心を持つ企業や個人が、学校のクラスルームを「Adopt（承認、公認）」し、そのクラスルームの教育に貢献することを目的としています。このプログラムは、学生たちに職業に関する知識を提供し、彼らが将来のキャリアに向けて準備するのを支援することを目的としています。

セッション5 資料4

会員維持のための12のポイント

1. 会員サービス委員会の設置
2. クラブの会員参加の歴史及び会員維持率を調査測定する
3. 入会前のオリエンテーション・プログラムを準備する
4. 歓迎する一職務を割り当てる一会員に紹介する
5. メンターを選任し、教育プログラムの開発をする
6. 新会員の歓迎会を行う
7. 初年度の新会員の活動を記録する
8. 1年目以降 一 表彰と面談
9. 新会員が活躍する機会を奨励する
10. 会員の職業上の発展の機会を提供するネットワークを構築する
11. 退会の危険な兆候に注目し、参加促進に関する問題を解決する対策を講じる
12. 革新的であれ 一 私たちがクラブ会員であり続ける理由を強調する

セッション5 資料5

既成概念にとらわれない - クラブ例会の活性化！

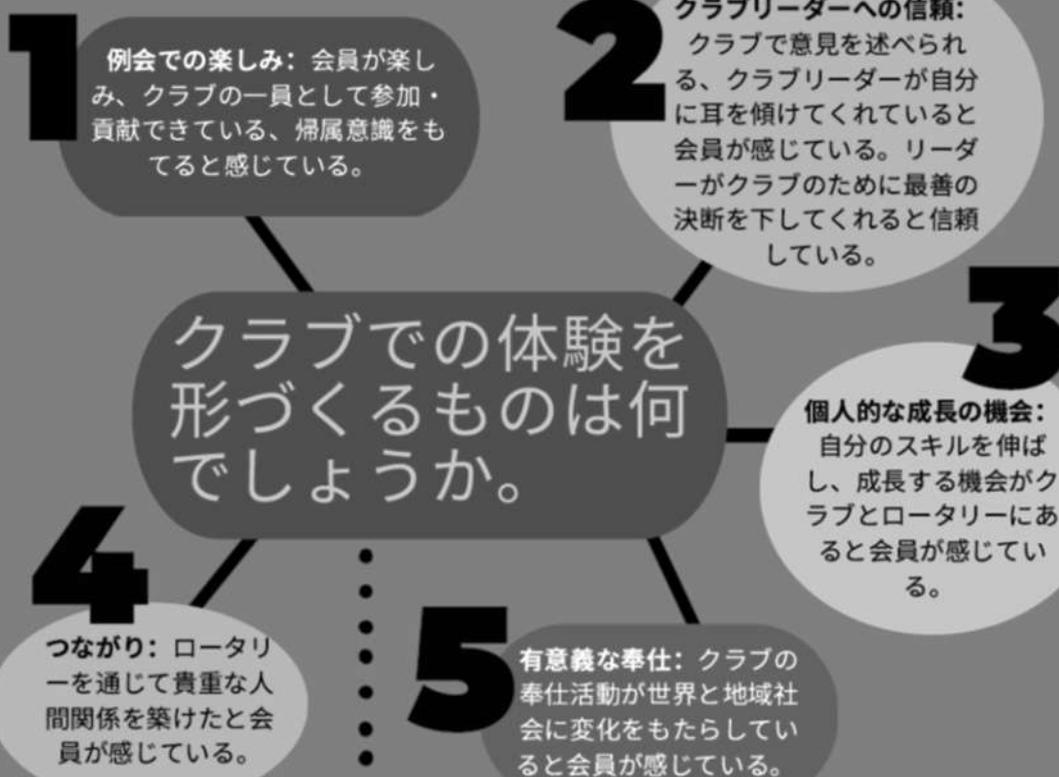
1. ロータリアンの配偶者、パートナー、あるいは子供たちに例会を運営してもらう。
2. 近隣のクラブの会長と交代してもらい、その会長に例会を担当してもらう。
3. 会場のレイアウトを全面的に変更する。
4. 通常の議題の順序を逆にする。
5. 新会員を招待して例会を企画してもらう。
6. 会議の運営にプロのコーチを招く。
7. クラブを去った元会長を再び招き、長年のロータリーの変化を振り返ってもらう。
8. 例会を取りやめ、会員に地域の他クラブに出席してもらい、そのクラブがどのように運営されているかを見てもらい、アイデアを持ち帰ってもらう。
9. 例会にロータリーラーニングセンターのビデオを使用する。
10. 例会時間を変更する。
11. 職業能力開発に焦点を当て、会員がどのように事業を始め、どのような問題に直面したかについて語る。
12. クラブ例会で何が期待されるかを知ってもらうために、講演者に事前に渡す広報資料を作成する。(マーケティングのためでもある)
13. 正式な例会の代わりに地元企業を訪問する。
14. 予定されていた講演者が来なかった場合に備え、「予備のプレゼンテーション」を用意しておく。それは、ビデオでも、準備しているクラブ会員でも、簡単なプロジェクトでもよい。
15. 会員向けの「スピード・ネットワーキング」*イベントを企画し、地域社会の人々を招待する。
16. 芸術イベント、スポーツ大会、地元の学校の活躍など、地域の何かを祝う。
17. 例会の代わりに親睦会を開く。
18. スポーツ、博物館、美術館、演劇など、地域のイベントにグループで参加する。
19. 雑学コンテストをする。
20. ロータリーの月間テーマについて話し合う。

*スピード・ネットワーキング (Speed Networking) は、プロの連絡先を効率的に作成するための効果的な方法です。このイベントでは、異なる分野の多くの個人が集まり、プロフェッショナルな繋がりを築くことができます。スピードネットワーキングイベントは、異なる分野の多数の個人に人々がアクセスできるようにします。

セッション5 資料6

最も大切なのは「クラブでの体験」

ロータリーが最近行った調査によると、会員満足度を高める最も重要な要素はクラブでの体験であることがわかっています。



会員の関心とニーズに基づく体験を生み出すために、会員満足度アンケートを含む「会員増強のための評価ツール」をお役立ていただけます。

6 奉仕プロジェクトを創造する



私は、職業人のニーズを満たす世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。

セッションの目標

- あなたのクラブの奉仕プロジェクトをどのように立案し、遂行することができるかを学ぶ。
- 奉仕プロジェクトの成功を評価する方法を学ぶ

セッションの問い

1) あなたのクラブにおける、過去 3 年間の社会奉仕活動や国際奉仕活動の例を挙げてください。

- ① それは、どのような事業ですか。それは、いままでの事業と比較して何か創造的あるいは独創的な内容でしたか。それは、どういった理由から始められた事業ですか。
- ② そのための資金はどのようにして調達しましたか。
- ③ その事業に対し、クラブの会員はどのように関わりましたか。
- ④ その事業により、どのような成果が上げられましたか。その事業は今後も継続していく予定ですか。

*上記の質問に対する答えを意識することで、クラブの奉仕プロジェクトの全体像や課題を整理することができます。

2) もし、「あなたが奉仕プロジェクト委員長に任命されたら…」、どのような活動を実行してみたいとお考えですか。

地域のニーズや世界のニーズを捉えていますか。

新規性、創造性、独創性、実行可能性、クラブ会員の協力を得られるか、資金調達の可能性、被奉仕者への影響（事業の成功性）、継続性、持続可能性などを考慮して考えてみましょう。

まとめ

優れたロータリー奉仕プロジェクトには以下が必要です。

- 地域社会が特定した現在のニーズに応えること
- 創造性
- 持続可能性
- リスクをとること
- 新しいアイデア
- まだ必要とされている場合のみ、以前のプロジェクトを継続する。

セッション6 資料1 奉仕プロジェクトの事例

奉仕プロジェクトA

ロータリアンと地域社会のリーダーは、地元地域社会に10代の若者のためのレクリエーション施設や活動がないことを憂慮していました。何もすることもなく、ぶらぶらする場所もなく、10代の若者たちはショッピングモールや街の広場に集まっており、時々トラブルに巻き込まれたり、年配の人や他の10代の若者に嫌がらせをしていました。

ロータリアンたちは市長を訪ねましたが、市長は、10代の若者のためにもっとレクリエーション施設や活動が必要だが、町の予算からは若者のためのセンターのための、資金を提供できないことを認めました。町には、ある目的のために寄付するか、使用することができる建設用地があると市長は述べました。また、空き家となってる2部屋の学校もありました。ただ、それはもう何年間も使われておらず、あまり良い状態ではありません。10代の若者が使用するために、ことによると修理が必要になるかもしれません。

奉仕プロジェクトB

あなたのクラブの会員は、可能性のあるプロジェクトについて地域の厚生福利部門の責任者と話をしました。そこで、彼女は、自分の家の前まで、5、6歩を歩けないために、家での生活を大きく制限されている高齢の夫婦のことを話しました。また、彼らは寝室まで階段を上げられず、しばしばソファや床にまで寝てしまうこともありました。厚生福祉部門の責任者は、何とか、ロータリーにその夫婦を支援してもらえないかと尋ねました。

奉仕プロジェクトC

あなたのクラブの会員は、生徒にとっての重要な課題は何かを学ぶために、町の小学校で校長、先生、指導カウンセラーと話し合いました。残念なことに、多くの問題がありますが、教育者たちは、最も重要な問題は3年生のある者たちは読解力が著しく劣っており、また全く読むことができない者も何名かいることが最も大きな問題であると信じています。あなたのロータリークラブはこの学校に対して何ができるのでしょうか、またすべきでしょうか？もし、行うとするなら、何をしますか？

奉仕プロジェクトD

あなたのクラブの会員は、道路脇の生垣の草刈りが環境や地元の野生生物に与える影響を懸念しています。また、地元の小川の水質についても大きな懸念があります。地元の政治家に相談したところ、支持はしてくれるものの、具体的な計画はないとのことでした。これらの問題に取り組むために、ロータリークラブにできることは何でしょうか。

奉仕プロジェクト E

あなたは、地元地域の多くの高齢者が、自宅で一人暮らしをしているか、老人ホームに入所しているため、孤独な生活を送っていることを知りました。高齢者の多くは、社会に参加したくても参加できる場がありません。

また、地域社会には、やりたいことがなく、根無し草のように歩いている若者もいます。ロータリークラブとして、老人が参加でき、若者が有意義な活動を見つけられるような、若者と老人の共通の出会いの場を見つけるために、どのような貢献ができるでしょうか。

奉仕プロジェクト F

近年、祝日になると多くの若者が街に集まり、明らかにアルコールやその他の薬物の影響を受けています。何人かは 16 歳以下で、酒を飲んだり買ったりすることは禁じられています。

この前の祝祭日には、多くの若者が市街地に集まり、警察は否定的な若者文化に警鐘を鳴らし、このような日には市街地にもっと冷静な大人の模範となるよう呼びかけました。

ロータリーとして、中心市街地のマイナスの発展を防ぐために、また、より多くの高齢者に参加してもらうために、どのようなことができるでしょうか。

奉仕プロジェクト G

多くの若者は、中学校を卒業したら何を勉強するのか分からず、高校でどのようなコースを選ぶべきか迷っています。

ロータリアンの多くは、さまざまな職業で長い経験を積んでおり、職業生活での経験を若者に伝えることができます。

ある中学校が地元のロータリークラブに連絡を取り、若者が自分の目標を達成するためにどのような教育を選択すればよいのかアドバイスを受けることができるキャリアデイを開催することになりました。

ロータリークラブは、中学校と協力して、どのようにキャリアデイを開催できるでしょうか。

セッション6 資料2

奉仕プロジェクトについての質問

1. ロータリークラブは何か支援することができますか？
2. もしそうだとしたら、ロータリアンはその支援のためにどんな奉仕の実践ができるでしょうか？
3. どれくらい資金は必要でしょうか？
資金募集は？
4. プロジェクトはどのように計画されますか？
何が必要ですか？
5. プロジェクトはクラブの良い広報となりますか？
6. 会員はプロジェクトに” 夢中になる” ことができますか？
7. これは単年度のプロジェクトですか、あるいは継続プロジェクトですか？
8. 他の地域社会のリソースが何か利用できますか？あるいは他の組織を巻き込むべきですか？
9. プロジェクトを前進させるために必要な手順は何でしょうか？

我々を必要とする人々に奉仕をするために捧げる時間は、奉仕される人たちの生涯の分岐点だけでなく、我々自身の生涯における分岐点ともなります。

1980～81年 RI 会長 Rolf Klarich
時間を捧げよう奉仕のために

The Rotarian 1980年7月

セッション6 資料3

ジョン・コッターの変革を導く8つのステップ

<https://www.kotterinc.com/methodology/8-steps/>

1. 危機感を醸成する

大胆で意欲的な機会を達成するために、情熱と目的を持って行動するよう、人々を鼓舞する。

機会を与える。説得力のある（そして明確な）未来のビジョンを共に追い求めようという気運を高める。未来のビジョンと一緒に追い求める気運を高める。

2. 指導的連携を築く

ボランティア・ネットワークには、それを指導し、調整し、活動を伝える、献身的な人々の連合組織（仲間から生まれる）が必要である。

3. 戦略的ビジョンの策定

未来が過去とどう違うのかを明確にし、ビジョンに直結した取り組みを通じて、その未来を実現する方法について賛同を得る。

4. ボランティア“軍団”を集める

大規模な変革は、大勢の人々が共通の機会を求めて結集したときにのみ起こりうる。個人レベルでは、積極的に貢献したいと思わなければならない。集団としては、共に目標を達成しようとする一体感が必要である。

5. 障害を取り除くことで行動を可能にする

物事を遅らせたり、前進を阻む障害物を取り除く。人々がイノベーションを起こし、組織内の壁を越えて機敏に働き、迅速にインパクトを生み出せるようにする。

6. 短期的な成果を生み出す

勝ちの結果の分子である。進捗状況を把握し、ボランティアに活力を与えて継続させるためには、このような成果を認識し、収集し、早い段階で頻繁に伝えなければならない。

7. 持続的な加速

「困難な変化において成功を確実にする方法は...どのステップも学習も省略しないことである」

8. 変化を定着させる

新しい行動と組織の成功とのつながりを明確にし、古い習慣に取って代わるほど強くなるまで継続させる。システムとプロセスを評価し、マネジメントの実践が、投資した新しい行動、考え方、仕事のやり方を強化することを確認する。

セッション6 資料4

Toxic Charity by Robert Lupton A Synopsis 『有害な慈善活動』ロバート・ラプトン著 あらすじ

有害な慈善活動

『有害な慈善活動』はボブ・ラプトンが 2011 年に出版した本である。出版当時、ボブ・ラプトンと妻のペギーはアトランタに 40 年近く住み、働いていた。ボブが設立した組織は当初、ファミリーコンサルテーション・サービスと呼ばれ、制度的不正の影響を色濃く受けたアトランタの近隣地域の活性化に取り組んでいた。

アトランタで隣人たちとともに暮らすうち、ボブは多くの慈善活動が、よくても役に立たず、最悪の場合、まさに品位を落とすものであることに気づき始めた。同時に彼は、慈善活動のために近所にやってくる人々は皆、正しい場所に心を置いていることを知っていた。彼らの多くは本当に助けたいと思っていた。彼らはただ、自分たちのしていることが有害だということを知らなかっただけなのだ。

ボブは、ほとんどが白人で、ほとんどが中流階級や上流階級で、ほとんどが高学歴で、圧倒的にクリスチャンである仲間たちに、何が起きているのかという現実を説明するために『有害な慈善活動』を書いた。彼は彼らに、自分たちのチャリティの真の効果を知ってもらい、新しいモデルを提供したかったのだ。

有害な慈善活動とは何か

有害な慈善活動の核心は、一方的な危機救済を通じて、慢性的に続く貧困に対処しようとしていることである。おもちゃのプレゼント、学用品の配布、食料配給所などのような一般的な慈善モデルは、資源の移転に焦点を当てた短期的な解決策の例である。

こうした慈善活動が扱う問題は、より広く、より大きく、より体系的なものである。その結果、一方的な慈善が根本的な問題を解決することはほとんどなく、一方的な授受が繰り返されることになる。

残念なことに、有害な慈善活動は、与える側と受け取る側に関する思い込み、すなわち、受け取る側の核心的な問題は、アイテムやリソースが「不足している」ことであり、それらを提供してくれる誰かを「必要としている」ことである、という考えを強化することになりかねない。このパラダイムは、低所得者はお金の管理方法を知らないとか、十分に働いていないというような、より深い偏見を助長する可能性がある。

有害な慈善活動は、「与える側」や「与えるプログラム」が、与える相手と地理的・関係的にほとんど結びつきがない場合、さらに危険なものとなる。手当てをするために近所に通うことは、尊厳と信頼に基づいた関係を形成することを難しくする。

よくある有害な慈善活動の間違い

私たちは毎日、本当に変化を起こそうとしているチェンジメーカーたちと話をしている。

ここでは、よくある有害な慈善活動の間違いをいくつか紹介しよう：

リソースの移転にのみ焦点を当てる

時には、少し威厳のある方法でだけ、資源を移転しようとする誘惑に駆られることがあります。例えば、子どもたちにクリスマスプレゼントを配ることは、親にとって本当に恥ずかしいことであり、それは有害な慈善活動であることに気づいたチェンジメーカーに出会ったことがある。そこで彼らがとった次のステップは、クリスマスショップを開催し、親たちが子供たちのためにおもちゃを選び、ラッピングして子供たちに渡すというものだ。これは絶対に改善されたモデルであり、私たち自身も毎年『Pride for Parents』で利用している！

重要なのは、おもちゃ屋が物質的なニーズを解決するものではないことを知っていることだ。資源譲渡は健全なエコシステムであり、組織が関与するための方法であることは間違いないが、それ自体、私たちが追求している解決策ではない。このおもちゃ屋だけが、アトランタ歴史地区サウス・アトランタに私たちが協力する唯一の方法ではないのだ。

関係性のない開発へのシフト

近接性、つまり感情的、物理的、地理的に、仕事をしたい地域と一体化することは、絶対に不可欠である。変化は信頼のスピードで進む。近隣との関係を築くことなしに、信頼関係を築くことは不可能だ。耳を傾け、学び、理解しようとする時間がなければ、関係は浅いものになる。人間関係に投資することなく、その場所の制度的な現実を変えたいと思うこともあるだろう。しかし残念なことに、近隣住民と協力することなく制度的なレベルで活動することは、住民の同意なしに開発を行うようなものだ。新しい道路や企業を建設することは素晴らしいことかもしれないが、地域社会の賛同なしに完成させた場合、それが変化をもたらすことはほとんどなく、害をもたらす可能性さえある。

隣人の有害性を見極める

私たちは誰でも偏見を持っている。信頼できるパートナーになるためには、それを疑うことが重要である。私たちが見てきたよくある間違いのひとつは、変革者が自分自身の心を変えることなく、彼らのモデルを変えようとすることである。隣人や近隣に欠陥があると見なしたまま、変化を起こそうとする人々も見てきた。有害な慈善は、受け手が貪欲であったり怠け者であったりするから有害なのだという結論に達する人たちと、私たちは厳しい会話を交わしました。このような偏見は、信頼と真のパートナーシップの邪魔になる。このような信念は、地域の歴史や制度的不正の現実を無視する傾向もあります。私たちはすべての人に、自分の中にあるバイアスを検証し、制度的不正の歴史を検証するよう勧めている。私たちは皆、ある人を抑圧し、ある人を有利にするシステムの一部なのです。私たちは皆、自分が持っている偏見や思い込みを学んでいるのです。それは旅路なのです！

R L I 研修セミナーテキスト (2023 - 2025 年度版)

翻訳・監修：R L I 日本支部

発行者：R L I 日本支部委員長 北 清治

発行：2024 年 7 月 1 日

事務局：第 2750 地区ガバナー事務所

電話：03-3436-2750

U R L：https://rli-japan.org

Email：rlijapan.mainoffice@gmail.com